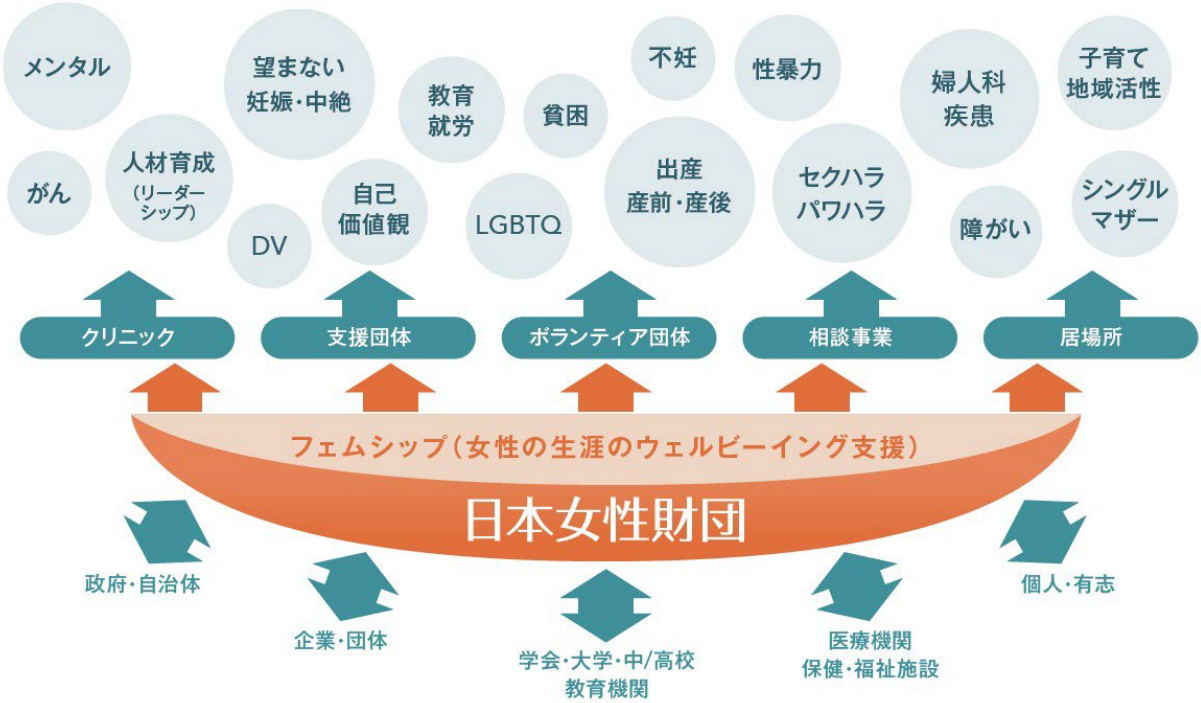
活動報告書　2023

一般財団法人日本女性財団

女性たちに、生き抜く力を。
日本女性財団

日本女性財団　発足記念式典（2020年8月）



WAM助成
令和５年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

目次

p 2　ごあいさつ

p 3　私たちの活動

p 4　Ⅰ. 女性たちの現状を知る活動

p 6　Ⅱ.女性支援を拡げる活動

p10　Ⅲ.情報・データを集め政策提言する活動

p13　会員登録のご案内

p14　設立からこれまでの活動

p16　今後の活動、一般財団法人日本女性財団概要

2024年1月　役員と法人会員との交流会

ごあいさつ

代表理事　対馬ルリ子

プロフィール　産婦人科医
1984年、東京大学医学部産婦人科学教室入局。
都立墨東病院周産期センター立ち上げを経て、2002年、ウィミンズウェルネス銀座クリニック（女性ライフクリニック銀座）を開院。
2003 年、「女性医療ネットワーク」を設立、全国500名の女性医師・女性医療者と連携して活動。著書に、「キレイな〔からだ・心・肌〕女性ホルモン塾」、『女性外来が変える日本の医療』など。テレビは、NHK「きょうの健康」、テレビ朝日「徹子の部屋」、日本テレビ「世界一受けたい授業」「NEWS ZERO」、などに出演。

本財団は、未曽有のコロナ禍の中で誕生しました。
女性には特有の健康リスクがあります。日本の女性に関するヘルスリテラシーは他の先進国に比べ低いのが現状です。
私たちは、「女性の 生涯の心身と社会的なウェルビーイングを支援する」というテーマを掲げ、女性の心身の健康 および社会的な活躍を後押しし、新しい日本の社会づくりに貢献してまいります。また、コロナ禍の医療現場では、女性たちの困窮した姿が、目に見えて増えてきています。望まない妊娠、中絶、DV、虐待、失業、貧困による栄養失調、月経困難症など、女性たちに大きな負担とリスクが増加しています。
日本女性財団は、包括的に女性の人生を支え、救済して乗せる母船（femship：フェムシップ）をイメージしています。支援を必要としている女性たちを、フェムシップドクターズや支援団体が窓口となって、適切な専門機関、継続的な支援につなぎます。また、すでに女性支援を行っている団体・組織・個人と連携し、全国各地にプラットフォームを作って横連携するしくみを作っています。
あなたもfemshipに乗船し、社会を動かしませんか。

フェムシップドクター推進本部 本部長　髙宮城直子

プロフィール　婦人科医
佐賀医科大学(現 佐賀大学医学部)卒業(1986年), 同大学産婦人科教室入局, 琉球大学医学部産婦人科学教室入局,
那覇市立病院産婦人科, 糸数病院, アメリカ合衆国コーネル大学医学部生殖医学センター留学(1996年), ウィメンズクリニック
糸数にて体外受精を含む不妊治療を経て Naoko女性クリニック開院(2010年), Naoko美と健康のサロン併設(2017年)

さまざまな年齢の女性達が、身体的・精神的・社会経済的にさまざまな問題を抱えております。
フェムシップドクターズとして、女性達の抱える問題を支援団体・行政などと連携して解決できるように活動しております。
また、全国にフェムシップドクターズを増員すべく、養成講座を開催、配信しております。
医療従事者の更なるご参加及び皆様のご支援を宜しくお願い致します。

各地のプラットフォーム連絡会のご案内

私たちの活動

女性たちに、生き抜く力を。
日本女性財団

私たちは、3つのテーマで活動します

Ⅰ 女性たちの現状を知る活動

フェムシップドクターや支援団体が、現場で女性たちの救済に取り組みながら
その現状について調査、記録しています。

すべての女性が健康で生きやすく、活躍できる社会を目指す

Ⅱ 女性支援を拡げる活動

すでに女性支援を行っている団体・組織・個人と連携し、
全国各地にプラットフォームを構築し、
横連携するしくみをつくっています。

Ⅲ 情報・データを集め政策提言する活動

女性たちの実態やデータを収集し、
政府や自治体をはじめ、社会に具体的な提言を行います。
より良い社会システム構築に向けた活動です。

一般財団法人日本女性財団は、女性たちの健康課題に対して、

Ⅰ. 現場で取り組みながらその現状について調査し報告します

Ⅱ. 各分野や各目的ですでに女性支援を行っている団体・組織・個人と連携し、全国各地にプラットフォームをつくって横連携することによって、女性支援の質と量を高めます

Ⅲ. 得られた課題の情報やデータを政府や自治体の長に伝え、女性政策の提言をします

#femship
日本女性財団

Ⅰ. 女性たちの現状を知る活動

フェムシップドクターや支援団体が、現場で女性たちの救済に取り組みながらその現状について調査、記録しています。

Action 1. フェムシップドクターズを増やす活動

96名

1道 1都 2府 19県

北海道 2 , 青森県 1, 岩手県 5 , 秋田県 5 , 栃木県 1 , 千葉県 1
東京都 34 , 神奈川県 5 , 富山県 3 , 長野県 1 , 岐阜県 2 , 静岡県 3
愛知県 4 , (滋賀県 1), 京都府 2 , 大阪府 4 , 兵庫県 1 , 岡山県 8
山口県 1 , 愛媛県 1 , 佐賀県 1 , 長崎県 2 , 沖縄県 9

医師 73名 婦人科 55名, 内科 5名, 麻酔科 4名, 泌尿器科 5名, 眼科 1名, 精神科 1名, 小児科 1名, 消化器外科 1名

看護師 11名 内、性暴力対応看護師(SANE資格保持) 4名 **助産師 3名** **薬剤師 4名**

鍼灸師 2名 **公認心理師 2名** **柔道整復師 1名**

※2024年5月現在

フェムシップドクターズとは

医療の専門的なスキルと経験をもって、困窮する女性たちを親身にサポートする医師または医療関係者たちの総称。
日本女性財団の趣旨に共感し、女性支援を行うことに賛同した医療従事者です。

1. フェムシップドクター　：医師免許を保持し、医師としての活動実績を持つ者。
2. フェムシップナース　：看護師免許、保健師免許、助産師免許いずれかまたは複数を保持し、看護師としての活動実績を持つ者。
3. フェムシップエキスパート：歯科医師、薬剤師、理学療法士、その他、国家が資格を定める医療従事者で当該職務にて活動実績を持つ者。

※卒後10年未満の医師、フェムシップナース、フェムシップエキスパートはフェムシップドクターズ養成講座の修了を必須とする

Action 2. 女性たちが相談しやすい医療施設の窓口を増やす活動

13件

すでに活動している医療施設や福祉・支援窓口を登録し紹介します。
女性たちがどこに相談しても有効につながって解決にたどりつけるよう、地域で顔が見える連携をした相談窓口を増やします。また、キーパーソンたちが動きやすいように、プラットフォーム構築と事務局機能の支援をします。

北海道 1　東京都 4　神奈川県 1
静岡県 1　愛知県 2　岡山県 3　沖縄県 1

※2024年5月現在

Ⅰ. 女性たちの現状を知る活動

フェムシップドクターたちの裁量により、さまざまな条件たとえば居住地域や身分証明、経済状態の証明を必要とせずすみやかに必要な支援につなげるようにしています。財源はクラウドファンディングによって調達しています。

1,182件 Action 3. 経済的に困窮する女性への医療支援

●検診 WAM助成事業 **237** 件 子宮頸がん検診、経腟エコー、乳腺エコー、性感染症検査、血液検査、相談等

●緊急避妊薬 WAM助成事業 **56** 件

●ミレーナ挿入 WAM助成事業 **23** 件

※2022年6月 - 2024年5月現在

●フェムシップ医療費 独自の支援

中絶費一部支援（特定寄附金, MVAキット物品寄附）、性感染症検査（検診事業でカバーできないもの）、性感染症治療、低用量ピル、妊娠検査、各種治療、カウンセリング等

866 件

※2021年9月 - 2024年5月現在

フェムシップドクターと繋がった、ある大学生の手記 ＊＊＊

私は小さいころから人より過敏なところがあり、少々虚弱体質です。耳が良いので耳障りな音を聞いてしまうと体調に響き、鼻もよく嫌なにおいをかぐと頭痛を出し、鼻血が出てしまうこともあります。小学校5年生のころから始まった月経は、中学生になると月に一度腹部に耐えがたい激痛を伴うものへとなっていきました。時にはあまりの痛みに気絶することもあり、外にいるときに気絶したら、と怖くなりました。

月経について保健の授業で教えてもらったことだけでは痛みについての知識を補完できなかったので、調べてみるとPMSの痛みにはピル が紹介されていました。母にピル の事を話してみると、母はピル を使ったことがなくよくわからないと言って、そこでこの話はうやむやになってしまいました。その後、家庭の問題が色々と積み重なり高校生の時に家を出て児童養護施設へと逃げ込みました。今は大学に通いながらアルバイトをしており、奨学金は少しずつ切り崩して使っているため毎月の自由なお金はとても少なく、正直綱渡りのような生活です。

私のような、周囲の同い年と同じ社会でどうにかそれなりに頑張っている女性の苦労は中々周囲に気づいてもらえません。うかつに相談して付け込まれたら怖いので、たとえ近しい頼れる大人を持っていなかったとしても大して知りもしない大人に弱みを見せたり甘えたりもしません。おそらく私と同様の境遇で、一人懸命に生きている女の子は賢くて強い子たちばかりだと思います。そうでなければこの年齢まで悪い大人に自分の人生を邪魔されずに学問の道を進むことなど不可能だと思います。彼女たちは自分の弱さや苦労を周囲に見せない技術にあまりにも長けすぎていて、社会福祉の観点では重要視されにくい気がします。そんな女性たちにもっと安心できる場所やコミュニティが増えてくれることを願っています。ここにたどり着くまでに社会の悪さに足を引っ張られ嫌な経験を今もしている女の子たちにも、もちろんこれからは安全に楽しく暮らしてほしいです。

私はクリニックでピルを無料処方してもらい、苦痛から解放され本当に恵まれています。この様な取り組みを行って頂き、本当に感謝しています。ありがとうございます。

Ⅱ. 女性支援を拡げる活動

すでに女性支援を行っている団体・組織・個人と連携し、全国各地にプラットフォームを作って横連携するしくみを作っています。

6 地域

Action 4 . 女性を支援する地域プラットフォームの構築

女性支援団体 67 団体

岩手

玉木光子医師(いしどりや眼科/眼科医/岩手)、滝川佐波子医師(西松園内科クリニック/内科医/岩手)、齋藤美貴医師(健生病院・健生クリニック/産婦人科医/青森)を中心に、2022年11月に立ち上げ。活動趣旨に公的機関からも関心が集まり、参画した産婦人科医や女性支援団体、ほか女性支援に力を入れている企業と女の子たちが集まる場を作る企画等も開催している。

秋田

日本赤十字秋田看護大学看護学部看護学科 准教授 糸川紅子氏(秋田)を中心に、2023年9月に立ち上げ。フェムシップドクターがいない地域で、看護師がプラットフォームを構築する最初の地域となる。

沖縄

髙宮城直子医師(Naoko女性クリニック/婦人科医/沖縄)を中心に、2023年11月に立ち上げ。2024年現在、沖縄県内にて9人のフェムシップドクターと複数の女性支援団体と連携し、活動を行っている。
沖縄は若年妊娠が多いなど、社会的な課題が多い地域であり、若年者相談室であるユースクリニックも開催し、更に支援の輪を広げている。

東京

中島由美子医師(下平レディスクリニック/産婦人科医/東京)を中心に2023年1月に立ち上げ。本拠地のため、フェムシップドクターズの参画数は多く、地域的に活発に活動するな女性支援団体も多いため、医療支援のニーズも多い。都や区との連携は部署により状況が異なるため、さらに顔の見える関係を深める必要がある。

岡山

金重恵美子医師(岡山中央病院/産婦人科医/岡山)を中心に『未来の女性の笑顔をつくるために「知る」「守る」「つながる」支援』を目指し、2023年10月に立ち上げ。医療関係者、心理士、大学・教育機関、行政、支援団体、大学院生が参加。「アフターピルプロジェクト活動」「妊娠中からの気になる母子支援」連絡システム「ユースクリニック」の活動など関係機関から情報の提供と連携ができた。

中部

丹羽咲江医師(咲江レディースクリニック/産婦人科医/愛知)、長江美代子看護師(一般社団法人NFHCC/精神看護専門看護師,公認心理師,性暴力対応看護師(SANE-J)/愛知)を中心に立ち上げ。アウトリーチ活動で女の子を医療支援に繋いでいる他、医療支援にカウンセリングを採り入れる取り組みを始めた。

※2024年5月現在

Action 5. 法人会員と私たちの共同事業/活動

日本の女性たちを助け、その見えないニーズをくみあげ、企業活動や製品づくりに活かしたい企業の皆様方が、法人会員として財団を支えてくださっています。
2024年より企業プラットフォームを構築し、一緒に社会活動・企業活動をしていく計画をすすめています。財団の理事や評議員と企業との個別の企業内啓発、健康相談、事業相談なども可能です。

株式会社サンルイ・インターナッショナル（WOMB LABO）
代表取締役　森田 敦子 様

当団体理事でもある森田敦子氏は、ファウンダーとして企業への紹介活動を積極的に行ってくださっている他、女性へ向けた美容や健康向けのイベントを、寄附金を集めるためのチャリティーイベントとして開催していただきました。

リボン食品株式会社（Minotte）
代表取締役社長　筏 由加子 様

毎日がんばっている人へ、男女ともに嬉しい栄養素が簡単においしく摂れる、新しいフードブランド「Minotte」のブレッドやスープ、チョコレートをイベント参加プレゼントに物品寄附をしていただきました。

有限会社Juliette（nanadecor）
代表取締役　林 恵実 様

生活が変われば気持ちが変わり、体が変わります。nanadecorを通して、がんばっている女性たちへ、女性特有の病気予防にもつながるオーガニックコットンのすばらしさ、体を循環させていくことの大切さを伝えていけたらと願っています。

株式会社ぬちまーす 様

代表理事のクリニックにて統計を取った結果、「ぬちまーす(命の塩)」により月経随伴症状が改善し、ミネラル不足による不調があることが明らかになりました。

富士製薬工業株式会社 様

女性のライフステージに寄り添う多くの医療用医薬品を有し、医薬品の提供のみならず世界の女性のwell-being向上に貢献することを目指している会社です。

ロート製薬株式会社 様

弊社は、女性の健康課題に寄り添い、美と健康を幅広い商品でサポートしています。第3回岩手リアルプラットフォーム連絡会で協賛させていただきました。

ラインファーマ株式会社 様

お取り扱い製品に関連し、フェムシップドクターが中絶手術支援をする際の一部補助となる、指定寄附金としてご寄附をいただいています。

ハリウッド株式会社 様

設立記念日「フェムシップの日」活動報告会のイベント会場として、六本木ヒルズハリウッドプラザのスペースをお貸出しいただいています。

ウィメンズヘルス・ジャパン株式会社 様

弊社は人工妊娠中絶や流産手術、子宮内膜組織吸引用の医療器具を取り扱っています。日本女性財団の理念に賛同し、とりわけフェムシップドクターズの活動や困窮する女性たちの緊急救済を支援したいと考えています。

株式会社BORDER 様

妊産婦を孤立させないで！ 家庭用エコーを使った妊産婦の不安解消、うつ予防に関するアンケート調査の結果を共同リリースしました。他、「フェムシップドクターの日」イベントでご協賛いただきました。

メディカルサービス株式会社 様

「フェムシップドクターの日」イベントでご協賛いただきました。

サラヤ株式会社 様

「ラクトフェリンラボ」製品販売寄附金をいただいています。

Action 5. 女性支援団体、協力企業、協力政治家との交流、連携団体への支援

2023.12.05　フランスの女性医療視察報告会 – トークセッション 髙階恵美子議員

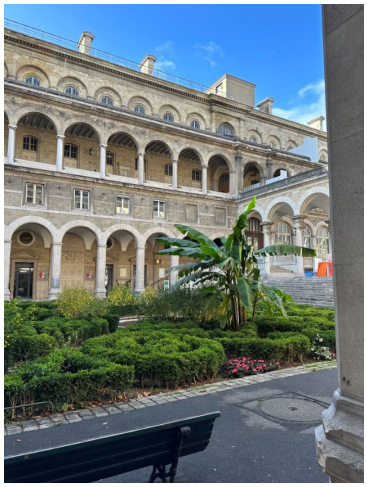
同時期に視察した髙階議員やトークセッションにご参加の皆様と、これからの日本の女性医療について話し合いました。

視察報告

2023年10月29日-11月4日に対馬代表理事、吉川理事がフランスパリの女性医療施設の視察に行きました。

3年前に出来た性暴力・DV被害者支援のメディカルセンターはパリ市内に4ヶ所あり、その一つ「Hotel Dieu」を見学、医師・精神科医や心理カウンセラー・ソーシャルワーカー・秘書が３チームになり週5日の交代勤務、施設には弁護士、警察官も定期的に来院、NPOや警察に相談に来た人、外国人観光客も対応してもらえる仕組みがあり、運営は、パリ市（女性市長）、NPO、企業が資金を出して自主運営していました。100年近い歴史のある私立のお産病院「Maternite les Bluet」は、年間3100件の分娩数があり公立の総合病院に隣接、子ども病院なども連携していて、10年ほど前から女性の健康 ①出産 ②女性の健康 ③教育や研修 ④不妊治療 に特化している施設で、社会的・精神的ケアの仕組みもあり、NPOや行政とも連携し、あらゆる女性は無償で医療が受けられました。不妊治療も42歳まで無料、卵子凍結も38歳まで無料、ピル内服は一般的で、助産師も処方できました。

フランスには、どっしりとした農業と文化がありました。元々は保守的なカトリックの国ですが、1980年代、シモーヌヴェイユらによって中絶合法化など女性の権利が拡大した歴史があります。現在は移民が多くなり様々な民族が共存する多民族国家になっています。その中には、「女性を奴隷としか考えない」民族もいます。フェミシッド民間組織（NPO)が支援活動を展開しています。2017年、政府はそれらの組織を集めて大きな会議を開き、被害者支援やヘルスケア政策の推進を決定しました。垣根を超えた支援と、包括的医療の推進、無償化です。ロレアルや兵器産業なども資金供与しています。



連携団体への支援

【女性の生涯のWell-beingを考える会】　※補助金
　　2023年2月23日開催～ダイバーシティをめざす、いわてリアルプラットフォーム連絡会2～
【日本女性ウェルビーイング学会】　※寄附金
　　2023年10月21日開催～第7回 日本女性ウェルビーイング学会（JWW）総会～

Action 6.　女性や女の子たちの医療支援をするフェムシップドクターを養成する活動

フェムシップドクターズ養成講座

支援が必要な女の子や女性たちの現状を知り、活動できるフェムシップドクターズを養成する

＊オンデマンド受講可能
＊修了者に認定書授与
(簡単なテストがあります)
*受講料：
医師　- 15,000円
医師以外の医療従事者
- 10,000円
＊認定期間：2年

医師申込

医師以外の医療従事者
申込

これまで、性暴力被害対応、DV被害女性への支援、思わぬ妊娠や性感染症に悩む女性、女性特有の体調変動等について、大学や大きな病院に所属する医師や医療職は、そのニーズについて学ぶことはありませんでした。しかしコロナ自粛以降、家庭や学校、職場など閉ざされた関係内で起きていた暴力や搾取に対する支援が必要になっています。医療者も、行政や支援団体と横連携して、敷居の低い医療支援をするため、学ぶ機会を設けました。

＜カリキュラム＞
1．　フェムシップドクターの基本理念と役割
2．　女性の健康課題を理解する
3．　女性の健康課題の社会的影響
4．　女性支援の歴史
5．　困窮する女性たちの生活と健康への影響
6．　困窮する女性たちに必要な医療の実際
7．　困窮する女性たちに必要な支援の実際
（医療・福祉・地域・行政・政治）
8．　困窮する女性たちの支援に関わる法律
9．　地域の中のフェムシップドクターとしてできること

Action 7.　女性が安心して集える居場所の提供　フェムシップハウス事業

困った状態に陥っている女性や女の子が、相談したり、休んだり、一時的に身を寄せることができるフェムシップハウスを各地に開設しています。医療や行政、メンタルケア、ヘルスケアにつながり、からだと心と生活の自立ができるように、医療者や支援者が支援をつなげます。

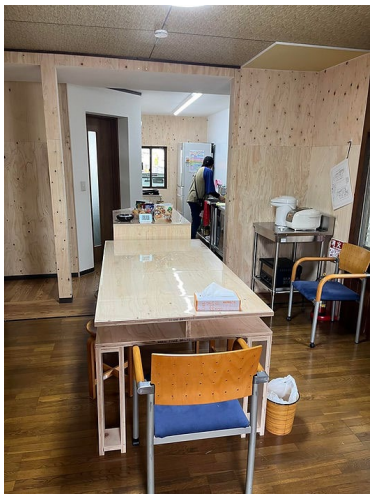
フェムシップハウス

「女性や女の子が安心して自立できるシェアハウス」「医療と地域をつなぐみんなの居場所作り」

第１号：青森県八戸市　白銀ハウス　（シェアハウス、民泊、レンタルルーム）2022年
第２号：埼玉県さいたま市　ヒューマンブーケ　（居場所、デイサービス）2023年
第３号：静岡県富士市　れんげそう　（自立支援ホーム）2024年

白銀ハウス

Human Bouquet



れんげそう

Ⅲ.情報・データを集め政策提言する活動

Action 8.　活動報告会、フェムシップイベント開催

3月　フェムシップドクターの日

毎年、東京都江東区カメイドクロックで、地域住民や支援者のみなさんに、子どもや女性が頼りにできる医師たちを知っていただくイベントです。産婦人科、小児科、ユースクリニックの医師たちと、助産師看護師、町内会、地元企業などが集まり、財団の地域貢献について紹介します。

8月　フェムシップの日（8月20日）

財団設立記念日に1年間の活動報告会の機会を設け、支援団体や法人、個人会員、ボランティア間の交流を深めています。
特に、女性活躍と女性健康推進に関わる各省庁の担当者、政治家と、支援企業や個人が、一同に顔を合わせて話し合い、より一層充実した政策や制度につなげる機会とします。

10月～12月　フェムシップメディアセミナー、フェムシップガラパーティ

メディアを通じて広く企業や個人に呼びかけ、困窮する女の子や女性たちを救済するばかりでなく、ジェンダーや経済の格差を解消してすべての人々が助け合い、豊かで文化的な生活を送れる国家を目指して、皆の願いを結集する機会とします。女性の問題は現代の社会課題の一つにすぎませんが、すべての課題とつながっています。皆で世界をよりよいものに変えていきましょう。

フェムシップの日

設立記念日　活動報告会・WAM助成事業発表会

理事・評議員・監事らが集まり総会後、関係者や連携団体・法人会員が参加して、ここまでの活動報告会を開催しました。最初の設立記念日「フェムシップの日」では、法人会員のハリウッド社のホールをかりて一般公開しハイブリッド開催しましたが、今年度は同じくハリウッド社のレセプションエリアに場所を移して開催しました。

フェムシップドクターの日

地域住民に地域医療・地域連携を周知するためのイベント

初年度に続き、東京都江東区にある「KAMEIDO CLOCK」にて開催。野村不動産のまちづくりプロジェクトの一つで、ショッピングモールに隣接するマンションと周辺住民、町内会とのコミュニティを実現している場所で、東京東部の医療と福祉・女性支援団体のプラットフォームを構築しています。

Action 9. 政策提言、陳情、院内勉強会

女の子や女性の健康課題解決にむけて、現場から政策制度の提案をしています。

＊自民党本部政務調査会「女性の生涯の健康に関するプロジェクトチーム」にて政策提言

① 2023年5月15日（月）
「ライフコースアプローチに着目した女性健康支援策」
発表者：対馬ルリ子
「35歳からの女性の健康支援と健康的な社会参加の促進策」
発表者：赤澤純代

② 2023年5月7日（火）
女性の生涯の健康に関する施策について
「女性の健康の包括的支援にいま何が必要か？」
発表者：対馬ルリ子、池田裕美枝、船津裕子、赤澤純代

＊自民党政調への提言（2024年５月）

提言１．女性のウェルビーイングのための環境作り
① 包括的セクシュアリティ教育をすべての人に
② 女性と医療・福祉をつなぐ女性健康支援士（仮称）の育成
③ 学歴資格取得支援、経済的支援
④ 妊娠出産子育て期も快適に働き続けられる制度整備、職場環境作り
⑤ プレ更年期からの健康づくり、更年期の体調変化にそなえ受診・相談・予防
⑥ 更年期、ポスト更年期世代の就労継続支援

提言２．子ども若者包括健康支援センターの創設
① 地域に公設の子ども若者包括健康支援センターを設立
② 未成年者や若者が駆け込める安全な場所
③ 食事と寝る場所、シャワー、着替え、電源、ＰＣの提供
④ 包括的性教育と、性行動や性暴力に関わる相談が無料で可能
⑤ 適切な医療支援（避妊、性感染症、妊娠と性暴力被害への対応を含む）を無償で
⑥ メンタルケアと自立支援につなげる
⑦ 警察や弁護士、教師、医療者など、多様な支援者がつながるソーシャルワークの充実

まとめ：女性の包括的健康支援＝からだの自己決定権と性の尊厳（ＳＲＨＲ）
・ 個々が自らの知識の上に、自分の心と身体を尊重した選択ができる社会を
・ 医療・福祉・教育のつながりの真ん中に、個々の身体の自己決定と性の尊厳がいつも必ずあるように

Action 10.　関連団体・組織・企業との共同事業、受賞など

＊　**イベント**　「人と地球に優しい政治をもとめて～私たちのウェルビライフ～」
　共催：ウィメンズヘルスアクション実行委員会

＊　**調査**　「全国女子高校生調査報告　女子高校生の声　自分のからだ」
　共同調査：ガールスカウト日本連携

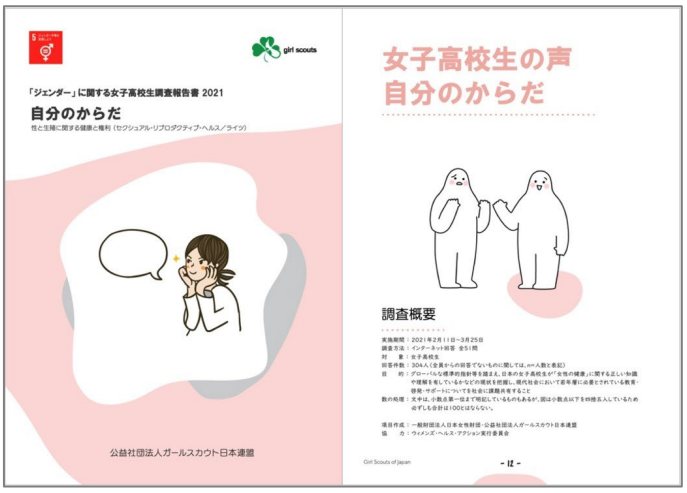
＊　**共同研究**　「妊娠中出産後の母体の健康トラブル実態調査　＃一万人ママの声を聞かせて」
　協力：NPO法人ReMind

＊　**学会主催**　「第六回　日本産前産後ケア子育て支援学会」主幹、東京大学伊藤謝恩ホール

＊　**共同発表**　「妊産婦を孤立させないで！家庭用エコーを使った妊産婦の不安解消、うつ予防に関するアンケート」
　共催：株式会社Border

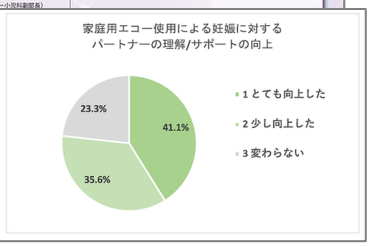
＊　**受賞**　「第1回　SDGs　JAPAN　SCHORLARSHIP岩佐賞」医療の部　受賞

＊　**助成金獲得**　令和4年、5年、6年度WAM事業「困窮する女性たちを救済するフェムシップドクターのインフラ構築」



家庭用エコーを使用したことで、パートナーの妊娠に対する理解度やサポートが向上したと感じますか？（ＳＡ）

	数	%
	202	100.0
	83	41.1
	72	35.6
	47	23.3



WAM助成
独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

会員登録のご案内

女性たちに、生き抜く力を。
日本女性財団

個人会員　法人会員

月 1,000円からのサブスクリプション

会員募集　女性たちに、生き抜く力を。日本女性財団

活動に参加・応援を　月1,000円から

- 各世代が抱える健康課題を解決するための医療支援
- 生き抜く力を支えるため相談しやすい場所を増やす
- 健康と活躍の知識を身に着ける教育
- 社会の声を集め提言する

月額寄附

ご協力をお願いします

〒100-0004　東京都千代田区大手町1-6-1　大手町ビル1.2階 SPACES 大手町
TEL:03-5211-8522 FAX:03-5275-1192
info@japan-women-foundation.org　https://japan-women-foundation.org/

何か私に出来ることはないかしら？と思ったら、ぜひ個人会員になってください。

月1,000円で1年続けていただくと、1人の女性に、健康相談か検診を支援することが出来ます。

都度寄附　年額寄附

34名

fem ship SUPPORTER

個人会員　法人会員

1年更新 500,000円から

日本女性財団は、女性を応援する企業を募集しています。

ご協賛内容	スペシャルパートナー（300万円）	トップパートナー（100万円）	メインパートナー（50万円）
1. 共同事業・研究パートナー (*1)	●		
2. 財団公式Webサイトに貴社商品を財団推奨商品として掲載	●		
3. 貴社の商品に財団のロゴマーク使用可(*2)	●	●	
4. 貴社のWebサイトに財団ロゴ及びバナー使用可	●	●	●
5. 財団公式Webサイトに貴社バナー掲載	●	●	●
6. 財団公式Webサイトに貴社ロゴおよび貴社名掲載	●	●	●

(*1)パートナー企業様と当財団での共同事業や研究、リサーチなど。　※内容は協議のうえ決定させていただきます。
事例)商品開発、OEM、サービスどの監修コメント。一般向けセミナーの共催、後援等貴社Webサイト用に財団ロゴをご提供。共同事業や協賛について掲載できます。
財団Webサイトにパートナー企業である旨明記し、リンクやQRを掲載。
(*2)パートナー企業様のお取り扱い商品を、財団推奨商品としてWebサイトに掲載させていただき、商品の販売促進へつなげることができます。
＊法人会員ご入会にあたっては、当財団の目的に合致しているか簡単な審査をさせていただきます。
＊金額は年会費です。

17社

fem ship PARTNER

日本女性財団　これまでの活動

2020年コロナ禍ロックダウンの中、UNWomenが「女性と女児に対する暴力：陰のパンデミック」に対する声明を発表。

第1期

2020年 8月 7日
一般財団法人日本女性財団 創設
創設者　対馬ルリ子、浅野邦子(故)、内田容子、吉川千明

2020年 8月28日
日本女性財団 設立 Kick Off イベント
女性たちの現状を知る活動として「学んでみよう、女性たちのこと。～女性支援者から聞く、課題と現実」を9回にわたり開催、452名が参加。

2021年 3月 4日
フェムシップドクター 結成
女性医療ネットワーク理事長であった対馬ルリ子の声掛けによって、全国から15名の女性医師が集結した。

第2期

2021年 7月 8日
READYFOR クラウドファンディングに挑戦
「独りで悩まないで。全国の女性医師たち15名と、苦しむ女性を救いたい」
支援総額　6,343,000円

2021年 8月25日
「人と地球に優しい政治を求めて　～私たちのウェルビライフ～」イベント開催
主催：日本女性財団、国会議員有志
共催：ウィメンズヘルスアクション実行委員会、超党派女性医療職エンパワメント推進議連
厚生労働省、スポーツ庁、経済産業省、内閣府
高階恵美子氏、上川陽子氏、野田聖子氏、自見はなこ氏

2022年 3月 5日
ガールスカウト日本連盟　オンラインイベント開催
「私たちがいま、未来に向けてできることを一緒に考えていく」
ガールスカウト日本連盟●「ジェンダー」に関する女子高校生調査報告書 2021
「女子高校生の声 自分のからだ」発表　調査項目作成協力

2022年 4月30日 - 5月31日
妊娠中出産後の母体の身体トラブル実態調査
「#1万人ママの声を聞かせて」アンケートを実施
協力:NPO法人ReMind

第3期

2022年 7月19日
独立行政法人福祉医療機構「令和4年WAM助成 (社会福祉振興助成事業)のモデル事業開始
「困窮する女性たちを救済するフェムシップドクターのインフラ構築」

社会的な健康課題を抱える女性のための「検診ギフト」事業開始 通年

2022年 7月23日
「クオータ制を学ぶ　～女性が生きやすい社会を実現するために～」講演会
オンライン開催

2022年 8月19日
READYFOR クラウドファンディング 開始
「〈第二弾〉苦しむ女性たちを救う活動を全国各地に広げたい」
支援総額　3,208,000円

ヘルスリテラシー向上のための講師紹介動画公開

2022年 8月20日
日本女性財団 設立記念日イベント
「8月20日は #femshipの日 ～あなたが誰かの船になる日。～」リアル＆オンライン活動報告会 - WAM助成事業発表会を開催

2022年 9月 8日
自民党政務調査会「人生100年時代戦略本部　女性の生涯の健康に関する小委員会」にて、「1万人ママアンケート(妊娠中・出産後の母体の身体トラブル実態調査)」について発表

2022年10月22日　第1回「SDGs JAPAN SCHOLARSHIP 岩佐賞」医療の部 団体を受賞
主催：公益財団法人　岩佐教育文化財団

2022年11月22日　**地域プラットフォーム第1弾**
第1回「岩手プラットフォーム連絡会」を岩手県花巻市で開催

2022年12月 7日　**「東京リアルプラットフォーム連絡会」事前意見交換会を東京都新宿区で開催**

2023年 1月11日　**第1回「東京プラットフォーム連絡会」を東京都渋谷区で開催**

2023年 2月 5日　**地域住民に地域医療・地域連携を周知するイベント**
「フェムシップドクターの日」東京都江東区でリアル＆オンライン開催

2023年 3月 8日　**日本女性財団の連携施設、第1号のシェアハウス**
「白銀ハウス」（一時保護施設）を開設

2023年 3月25日　「第6回日本産前産後ケア・子育て支援学会」主幹

2023年 5月15日　**自由民主党本部開催の委員会にて「ライフコースアプローチに着目した健康支援策」について代表理事 対馬ルリ子が発表**

第4期

2023年 6月12日　「妊産婦を孤立させないで！ 家庭用エコーを使った妊産婦の不安解消、うつ予防に関するアンケート」調査結果を株式会社Border(本社：東京都港区、代表取締役：高多直晴)と共同リリース

2023年 8月20日　**日本女性財団 設立記念日イベント**
「フェムシップの日」リアル＆オンライン活動報告会 - WAM助成事業発表会を開催

2023年 9月18日　**第1回「秋田リアルプラットフォーム連絡会」を秋田県秋田市で開催**

2023年10月22日　**第1回「岡山リアルプラットフォーム連絡会」を岡山県岡山市で開催**

2023年11月22日　**第1回「沖縄リアルプラットフォーム連絡会」を沖縄県那覇市で開催**

2024年 1月13日　上野千鶴子氏「女の子の育て方、ついでに男の子の育て方」
講演会＆交流会

2024年 1月14日　**第1回「フェムシップドクターズ養成講座」を東京都千代田区で開催**

2024年 2月13日　**第3回「岩手リアルプラットフォーム連絡会」を岩手県盛岡市で開催**

2024年 2月21日　**第2回「東京リアルプラットフォーム連絡会in杉並」を東京都杉並区で開催**

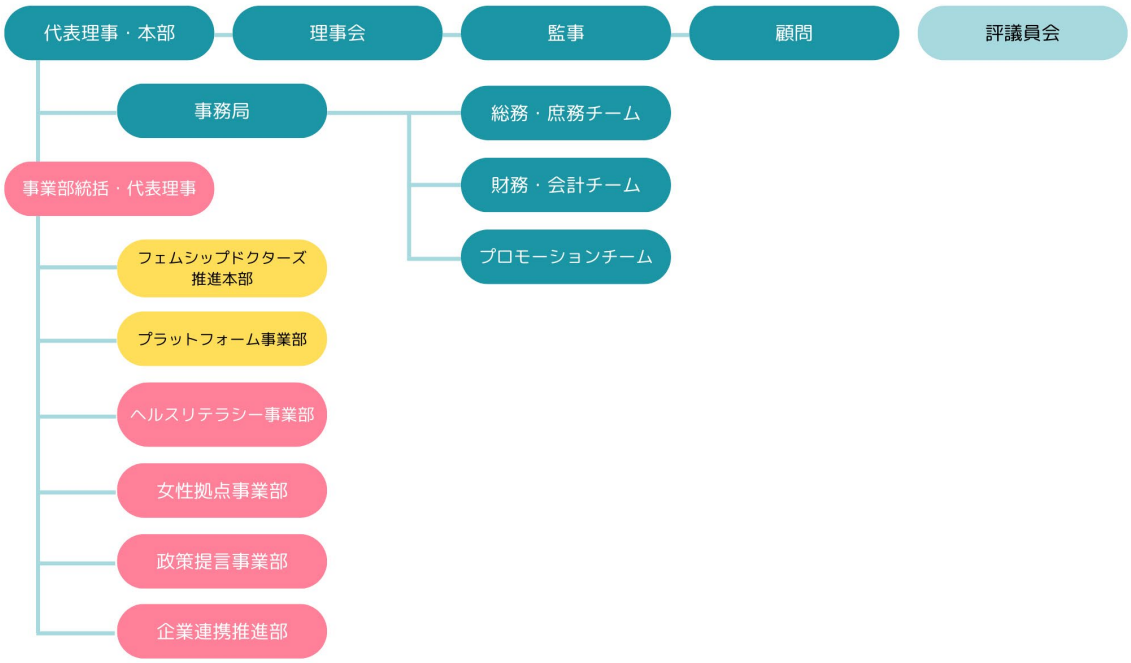
2024年 3月 3日　第2回「フェムシップドクターの日」を東京都江東区で開催

2024年 3月 7日　**第1回「中部プラットフォーム連絡会」を愛知県名古屋市で開催**

第５期　今後の予定

2024年 8月 2日	メディア発表
8月 3日	READYFOR クラウドファンディング
8月20日	活動報告会「フェムシップの日」
	地域プラットフォーム連絡会： 岩手県, 東京都, 秋田県, 岡山県, 沖縄県, 愛知県, 大阪府, 北海道, 神奈川県, ・・
2025年 1月25日	養成講座前日講演会
1月26日	フェムシップドクターズ養成講座
3月 1日	「フェムシップドクターズの日」@東京都江東区
3月 8日	ガラパーティー

組織



名称	一般財団法人日本女性財団
所在地	東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル1.2階　SPACES 大手町
設立日	2020年8月7日
代表理事	対馬 ルリ子
理事	吉川 千明、内田 容子、森田 敦子、北條 裕子、稲田 龍介、上野 千鶴子、関口 由紀、髙宮城 直子、笹尾 敬子、佐々木 恵美子、落合 香代子
監事	池上 清子　公益財団法人 プラン・インターナショナル・ジャパン 理事長 大須賀 穣　東京大学大学院医学系研究科 産婦人科学講座 教授

評議員	奥田 浩美　（株）ウィズグループ 代表取締役 小巻 亜矢　（株）サンリオエンターテイメント 代表取締役社長 髙階 恵美子　衆議院議員 田瀬 和夫　SDGパートナーズ（有）代表取締役CEO 吉村 泰典　慶應義塾大学名誉教授

Tel: 03-5211-8522　Fax: 03-5275-1192　Mail: info@japan-women-foundation.org　https://japan-women-foundation.org/

いつも応援、ご支援をいただきありがとうございます

女性を応援する人を募集しています！